

に貢献できる専門職を育成している。

教育課程は、教育理念、教育目標、卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。

- 1) 基礎分野と専門基礎分野は、専門領域を学ぶ上で土台となる。専門領域の基礎看護学を核とし、あらゆる対象、健康の段階、療養の場の看護を展開でき3年間で修得すべき能力を養う為に必要な学習の順序性を考え、さらに看護基礎教育と卒業教育の橋渡しとなるようカリキュラムを構成し、配置する。
- 2) 低学年時からグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、反復と応用、体験を繰り返せるような組み合わせで配置する。
- 3) アクティブラーニング、シミュレーション学習、ロールプレイ学習など、知識だけでなく体験を通して学べるような教育方法を積極的に取り入れる。
- 4) 日常的な体験を通して、さまざまな人々と人間関係を形成するコミュニケーション能力を養えるような機会を提供する。
- 5) 豊かな人間性と、人に対する関心と思いやりをもち、誠実で良識ある行動ができるよう教科内に留まらず、学校生活のすべての場面を学びの機会とする。
- 6) 科目目標の達成度は、多様な評価方法を用いて総合的に評価する。

#### ・入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は、卒業時の到達目標を達成できる学生として、入学時には次のような人材を望んでいる。

- 1) 慈恵の精神に共感し、看護実践に取り組む意欲がある人
- 2) 目標に向かって自ら学び続けることができる人
- 3) 他者の意見を聞き、自分の意見を伝えて信頼関係を作ることができる人
- 4) 看護を学ぶために必要な基礎学力を持ち学習することができる人
- 5) 人に対する関心と思いやりがもてる人
- 6) 誠実で良識ある行動ができる人

## (2) 慈恵第三看護専門学校

### I. 教学関係

#### 1. 学校運営に関する会議

- ① 学校運営会議は、学校長、副校長、教務主任、事務長、その他専任教員で構成するものを8回、学校長、参与、全専任教職員構成するものを2回開催した。
- ② 教員会議を毎月2回以上、教職員会議を毎月1回、その他卒業認定会議、単位認定会議、入学試験判定会議、カリキュラム運営会議、臨床実習指導者会議等を開催した。
- ③ 学校関係者評価をオンライン会議にて実施した。

#### 2. 教学関連の主な事項

- ① 3校合同入学式は新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19という）のため中止となり、本校33期生の入学式は、4月6日（火）に規模を縮小して大教室で挙行了した。  
なお、保護者に向けてはZoomにて式典模様を配信し、式終了後、保護者会を開催した。
- ② 2021年度は1年生（32期生）54名、2年生（31期生）51名、3年生（30期生）49名の計154名で新学期を迎えた。
- ③ 2021年度の授業は、COVID-19の影響を受け、eラーニングによる遠隔授業を中心に対面授業と併用して実施した。
- ④ 教育キャンプはCOVID-19のため中止した。
- ⑤ 保護者会はCOVID-19のため来校形式を中止し、eラーニングを利用した動画配信形式で3年生は11月、1年生は9月に開催した。  
なお、2年生については、eラーニングを見合わせてZoomによる個別面談のみ実施した。  
また、1年生については、eラーニングとあわせてZoomによる個別面談も実施した。

- ⑥ 32期生の戴帽式は、11月6日（土）に規模を縮小して本校大教室で挙行了した。
- ⑦ 3月12日（土）、本校大教室で卒業式が挙行され30期生の49名が卒業し、優等賞と、同窓会より恵和会賞がそれぞれ授与された。

## II. 入学試験

1. 2022年度入学試験は次のとおり実施した。
  - 推薦選考・大学卒選考〔一次〕2021年10月13日（水）〔二次〕2021年10月23日（土）
  - 一般選考 2022年1月5日（水）
  - 志願者数は139名（内男子20名）〔推薦23名（内男子2名）・大学卒選考13名（内男子2名）・一般選考103名（内男子16名）〕で、昨年度より14名減少した。
  - 入学者数は48名（内男子6名）であった。
2. オープンキャンパスはCOVID-19の影響によりすべての回をオンライン（Zoom）形式で開催した。（開催日・当日の開催回数・当日の参加者数）
  - ① オンライン相談会（Zoom利用）
    - 7月17日（土）4回25名、7月18日（日）4回29名、8月29日（日）3回54名
    - 9月12日（日）1回5名、9月25日（日）2回24名、10月8日（金）個別相談1名
    - 12月4日（土）1回7名、12月11日（土）2回13名 計8日・18回・158名
  - ② 教員とのオンライン個別相談（Zoom使用）
    - 10月8日（金）1名、12月4日（土）1名
  - ③ Webオープンキャンパス（本校ホームページ）
    - 次のコンテンツを更新し、5月よりYouTubeで配信を開始した。
    - ・学校長挨拶                      ・副校長によるカリキュラム説明
    - ・教務主任による本校の強み                      ・入学から卒業まで…3年間の過程

## III. 看護師国家試験

第111回看護師国家試験は2022年2月13日（日）に実施され、30期生49名が受験し全員が合格した。なお、全国の看護師国家試験合格率は91.3%であった。

## IV. その他

- ・卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）
  - 1) 人間を統合された存在として幅広く理解できる
  - 2) 看護の対象者との信頼関係を形成するためのコミュニケーションができる
  - 3) 豊かな人間性を備え社会的規範を理解し行動できる
  - 4) 科学的根拠・倫理に基づきさまざまな健康状態に応じた看護を実践する
  - 5) 保健・医療・福祉システムにおける看護と多職種の役割を理解し連携・協働できる
  - 6) 生涯にわたり継続して専門的能力を高めていくことができる
- ・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 

慈恵の看護専門学校は社会のニーズに応じて医療施設のみならず在宅および保健医療福祉分野に貢献できる専門職を育成している。

教育課程は、教育理念、教育目標、卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。

  - 1) 基礎分野と専門基礎分野は、専門領域を学ぶ上で土台となる。専門領域の基礎看護学を核とし、あらゆる対象、健康の段階、療養の場の看護を展開でき3年間で修得すべき能力を養う為に必要な学習の順序性を考え、さらに看護基礎教育と卒業教育の橋渡しとなるようカリキュラムを構成し、配置する。
  - 2) 低学年時からグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、反復と応用、体験を繰り返せるような組み合わせで配置する。
  - 3) アクティブラーニング、シミュレーション学習、ロールプレイ学習など、知識だけでなく体験を通して学べるような教育方法を積極的に取り入れる。
  - 4) 日常的な体験を通して、さまざまな人々と人間関係を形成するコミュニケーション能力を養

えるような機会を提供する。

- 5) 豊かな人間性と、人に対する関心と思いやりをもち、誠実で良識ある行動ができるよう教室内に留まらず、学校生活のすべての場面を学びの機会とする。
- 6) 科目目標の達成度は、多様な評価方法を用いて総合的に評価する。

#### ・入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は、卒業時の到達目標を達成できる学生として、入学時には次のような人材を望んでいる。

- 1) 慈恵の精神に共感し、看護実践に取り組む意欲がある人
- 2) 目標に向かって自ら学び続けることができる人
- 3) 他者の意見を聞き、自分の意見を伝えて信頼関係を作ることができる人
- 4) 看護を学ぶために必要な基礎学力を持ち学習することができる人
- 5) 人に対する関心と思いやりがもてる人
- 6) 誠実で良識ある行動ができる人

#### ・主な教育・研究の概要

雑誌 看護展望 2022, 2月号

コロナ禍における基礎教育と卒業した新人看護師の状況

～養成所の「気がかり」と2021年3月に卒業した新人看護師の「気がかり」を中心に～

片野裕美、佐々木陽子、伊藤由美、小川潤子、加邊隆子、高橋幸恵、佐藤章予、長嶋久美子、益留裕二

第52回（2021年度）日本看護学会学術集会

テーマ「老年看護学実習におけるシミュレーション教育導入の検討と課題」

小泉結香・那須詠子・齋藤友紀子・本田有里、荒谷美香

### (3) 慈恵柏看護専門学校

#### I. 教学関係

##### 1. 学校運営に関する会議

- ① 学校運営会議は、学校長、参与、副校長、教務主任、事務長の5名で構成され、毎月1回開催した。
- ② 教員会議を毎月2回、教職員会議を毎月1回開催、その他、卒業認定会議、単位認定会議、入学試験判定会議、カリキュラム会議、臨床実習指導者会議等を開催した。
- ③ 学校関係者評価を会議室参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催した。

##### 2. 教学関連の主な事項

- ① 2021年度の授業は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19という）の影響が続いたため、eラーニングによる遠隔授業と分散登校による対面授業を併用して実施した。
- ② 対面授業と遠隔授業の比率は学年により異なるが、eラーニングは繰り返し学習することが可能であるなど、学生にとってのメリットも感じられた。しかし、分散登校により学年を超えた交流がないため、上級生からの情報が得られないなどの弊害を解消するため学年を超えた交流をした。
- ③ 入学式はCOVID-19のため今年度も3校合同ではなく各校開催となり、4月6日（火）に新入学生および専任教職員の出席により開催した。
- ④ 2021年度の学生数は1年生（35期生）86名、2年生（34期生）75名、3年生（33期生）83名、計244名で新学期を迎えた。
- ⑤ 保護者会と個人面談は、4月17日（土）に3年生、6月12日（土）に1年生対象に来校とオンラインのハイブリッドで実施、10月23日（土）には2年生対象に感染状況を鑑み